



# 簡閱點呼號 (第二號)

## 在郷軍人學科問答集

### 第一 精神教育ニ關スル事項

問 勸諭ノ五ヶ條ヲ實行スルニ就テハ如何ナル心掛ガ必要ナルカ  
答 此ノ五ヶ條ハ軍人トシテ暫クモ忘レテハナリマセン又面シテ此ノ五ヶ條ハ軍人ノ精神ニ於テ誠心ハ又五ヶ條ノ精神ナルト仰セラレテ居リマス我々ハ五ヶ條ノ御示シテ、朝ニ行フニハ誠心ヲ以テ終始倫ルニセホナリマセン

問 如何ニセホ忠節ヲ盡シ得ルカ  
答 常ニ體力ト精神トヲ鍛エテ戰時ニ在リテハ一身ヲ抛ツテ國ノためニ盡シ平時ニ在リテハ克ク勸諭勸諭ノ御語ノ御意ヲ守リ立派ナ人間トシテ自分ノ日々ノ業務ニ勉勵スルノデアリマス

問 禮儀正シクスルトハ如何ナル事ヲ言フヤ  
答 目上ノ人ヲ敬ヒ周覽ニ親切ニ目下ノ者ヲ慈ム心掛ヲ終始忘レヌ様ニシテ之ヲ作法ニモ表スコトヲ言フデアリマス

問 武勇ヲ尚ブアタメニハ平素如何ニ心掛ベキカ  
答 血氣ノ小勇ヲ慎ミ意志ヲ鞏固ニシ身體ヲ健全ニシ文武ヲ流レズ武技ヲ磨ク心懸クルニアリマス

問 信義ヲ重ズルニハ如何ニ注意スベキカ  
答 自分ノ言フ事ハ必ズ踐ミ行ヒ己レノ責任ヲ果シ集合ノ時刻ナド堅ク守リ自分ガ行フ事ノ出来ヌコトハ始メカラ斷ハル様ニスルコトデアリマス

問 實業ヲ旨トスルトハ如何ナルコトカ  
答 何事モ華美ノコトヲ避ケ衣食

昭和八年七月七日印刷  
發行部郵政三三三號  
（日一十月七年六正八）  
（可認物便郵種三第）

定額	部金壹圓五厘
廣告料	毎月一回發行
紙面	一ヶ月六ヶ月十ヶ月
印刷	分前金分前金分前金
郵費	分前金分前金分前金
代印	分前金分前金分前金
代刷	分前金分前金分前金
代裝	分前金分前金分前金
代送	分前金分前金分前金
代配	分前金分前金分前金
代取	分前金分前金分前金
代集	分前金分前金分前金
代送	分前金分前金分前金
代配	分前金分前金分前金
代取	分前金分前金分前金
代集	分前金分前金分前金

住ノコト凡テ儉約ヲ守リ物事スベテ自分相應ニスルコトデアリマス軍人ハ戰時ノ事ヲ思ハバ特ニ此ノ習慣ヲ必要トス

問 大正三年十一月三日在郷軍人ニ賜ハツタ勸諭ノ御意旨ヲ述ベ  
答 國勢ヲ完全ニスルニハ在郷軍人ニ頼ルコトガ多イカラ汝等ハ心ヲ一ツニシ陸海軍ガ力ヲ合セテ軍人精神ヲ鍛エ時勢ニ順應スル力ヲ増進シ郷里ニアル時ニハ軍民トシテ活動シ一旦事アラバ從軍シテ國家ノ干城トナリ以テ軍人タルノ本分ヲ盡セヨト仰セラレタデアリマス

問 國勢ニ時勢ニハ在郷軍人精神ヲ鍛練スルコトノ外ニ軍事能力ノ増進ニ心掛ケネバナラヌレハ如何ナルカ  
答 兵器ハ常ニ改良セラルル然ルニコレヲ使用スルモノハ人デアリカラ使用者ガ其構造ヲ用法ニ精通セテコレヲイクラ改良セラレテ其ノ効ハ現レナイイマタ兵器ノ改良ニ伴フテ戰術ノ方法ニ進歩スルカカ近代ノ戰術方法ヲ練習シテオカネバ戰友ニ位シテ活動ガ出来ナイ然レニ在郷軍人ハ家業等ノためニ忙殺セラレテ兎角増進ハオロカ退歩スルノデアリカラ機會ヲ求メテ軍事能力増進ニ心掛ケネバナラヌ

### 第二 在郷軍人會ニ關スル事項

問 在郷軍人會設立ノ趣旨如何  
答 在郷軍人ハ平時ニ於テ中堅トナラネバナリマセン之ガ爲メ在郷軍人ハ一ノ精神ノ會ヲ組織シ以テ益々軍人精神ヲ鍛練シ軍事智識ヲ増進シ進んでハ國民精神ノ振作ニ努メ實業ヲ興風ヲ作り其民兵タルノ實ヲ舉ゲデアリマス

問 此目的達成ノ爲分會員トシテ如何ニ心掛ケヤ  
答 分會ハ自己ノ分會ニシテ自己

問 在郷軍人會設立ノ趣旨如何  
答 在郷軍人ハ平時ニ於テ中堅トナラネバナリマセン之ガ爲メ在郷軍人ハ一ノ精神ノ會ヲ組織シ以テ益々軍人精神ヲ鍛練シ軍事智識ヲ増進シ進んでハ國民精神ノ振作ニ努メ實業ヲ興風ヲ作り其民兵タルノ實ヲ舉ゲデアリマス

問 此目的達成ノ爲分會員トシテ如何ニ心掛ケヤ  
答 分會ハ自己ノ分會ニシテ自己

二着スルノデアリマス  
問 奉公費ヲ在郷軍人ニ所持セシムル趣旨如何  
答 勸諭ニ際シ應ズニ必要ナル品物ヲ忘レザル様ニ平素ヨリ準備シ尙勤儉貯蓄ノ美風ヲ守リ奉公ノ精神ヲ完フスルヲメデアリマス

問 規約貯蓄金ヲ行フ趣旨如何  
答 勸諭貯蓄金目下最モ必要ナル我國策ノ一ツデアツテ國民トシテハ誰モガ實行ニ努メネバナラヌモノデアリマス殊ニ國民ノ中堅トシテ自他共ニ許ス我々在郷軍人ニ於テハ尙更ノ事デアリノミナラズ我々ガ有事ノ日何時召集セララズモ旅費或ハ家族ノ生計ニ困難ヲ生ゼシメ各各自デ勤儉力行貯蓄ナシテ置カネバナラヌハ當然デアリガ更ニ分會ニ於テ規約貯蓄金ヲ行フ所以ノモノハ會員ヲシテ勤儉貯蓄ノ思想ヲ涵養シ以テ實業興隆ノ氣風ヲ養成セシムルト共ニ郷黨ニ範ヲ示シ之ヲ善導スルガ爲メデアリマス此ノ金額タルニ餘分ニ活動シテ收入ヲ以テ之ニ充ツコトヲ理想トスルノデアリカラ實地ノ効果ハ頗ル顯著ナルデアリマス

### 第三 青年訓練ニ關スル事項

問 青年訓練所ノ目的如何  
答 青年ノ心身ヲ鍛練シ健全ナル國民善良ナル公民タルノ實ヲ擧ゲスルニデアリマス

問 青年訓練所ニ於テ行フ課目ハ如何ナルカ  
答 修身及公民科教練普通科職業科デアリマス

問 青年訓練所ノ訓練時數如何  
答 四年ヲ通シテ修身及公民科百時教練百時普通科二百時職業科百時以上デアリマス

問 青年訓練所ニ於テ教練ヲ授クル趣旨如何  
答 心身ヲ鍛練シ堅忍剛毅ノ精神ト規律ヲ重シシ以テ要旨トシテ習慣トシテ以テ要旨トシマス

問 青年訓練所ニ對シテ在郷軍人トシテ如何ナル態度ニ出スベキカ  
答 青年訓練所ノ目的上吾人先輩トシテ應ズニ極力援助シ國家ノ大業ヲ完成セシムベキハ固ヨリデアリマス且此ノ訓練ノ成果ハ引ヒテ廣義ノ國防能力ニ重大ナル影響ヲ與ヘルモノデアリカラ吾人ハ職ヲシテ趣旨ノ徹底出席者ノ獎勵教練其ノ他ノ補助等分會トシテ協力トシテセホナリマセン

### 第四 服役ニ關スル事項

問 兵役ノ種類如何  
答 常備兵役後備兵役補充兵役國民兵役デアリマス（兵役法第二條）

問 常備兵役トハ如何ナルカ  
答 現役ノ常備兵役ト謂フデアリマス（兵役法第二條）

問 補充兵役トハ如何ナルカ  
答 第一補充兵役第二補充兵役ト謂フデアリマス（兵役法第二條）

問 國民兵役トハ如何ナルカ  
答 國民兵役トハ何年ナルカ（兵役法第六條）

問 兵役ノ後備役トハ如何ナルカ  
答 十年デアリマス（兵役法第七條）

問 補充兵役トハ如何ナルカ  
答 十二年四月デアリマス

問 在郷軍人ノ諸願願ハ通常何官ニ宛テ行フコトニ出ス  
答 通常本籍地ノ縣區司令官ニ宛テ本籍地市町村長ニ出シマス

問 召集其ノ他軍衛ノ命令ハ如何ニシテ達セラルカ  
答 市町村長ヨリ各自ニ達セラル（召集規則第三十九條第四十條）

問 旅行滞在又ハ本籍地市町村ヲ離ルル時ノ處置如何  
答 常ニ行先其ノ他必要ナル事項ヲ同一世帯ノ家族（主主合）ニ通知シテ旅行滞在又ハ本籍地市町村ヲ離ルル時ノ手續如何

問 軍衛ノ命令時之ヲ傳達スベキ者成年者ニ限ルル本籍地市町村長ニ於テ決定ニ連署シ以テ豫メ本籍地市町村長ニ届置キ且シ其ノ者ニ自己ノ所在ヲ詳細セシメ置キマス（兵役法施行規則第六十三條）

問 召集通報人トハ如何ナルカ  
答 應召員ノ寄留旅行等ノためニ在郷時之ニ代リ令狀ヲ受領シ應召員ニ召集簡閱點呼ヲ含ムルノ命令ヲ傳達スル責任者トシマス但シ召集通報人ハ成年者ニ限リマス又規定ニ依リ召集通報人ハ届出テナクテバナリマセン（召集規則第五條）

問 召集通報人トハ如何ナルカ  
答 大元帥陛下ノ勅令ニ依リ國軍ノ平時狀態ヨリ戰時狀態ニシテ召集旅費ハ自費ヲ以テ支辨シ出

### 第五 召集ニ關スル事項

問 召集ノ種類如何  
答 召集ノ種類如何

問 召集員ノ寄留旅行等ノためニ在郷時之ニ代リ令狀ヲ受領シ應召員ニ召集簡閱點呼ヲ含ムルノ命令ヲ傳達スル責任者トシマス但シ召集通報人ハ成年者ニ限リマス又規定ニ依リ召集通報人ハ届出テナクテバナリマセン（召集規則第五條）

問 召集通報人トハ如何ナルカ  
答 大元帥陛下ノ勅令ニ依リ國軍ノ平時狀態ヨリ戰時狀態ニシテ召集旅費ハ自費ヲ以テ支辨シ出

### 第六 召集ニ關スル事項

問 召集ノ種類如何  
答 召集ノ種類如何

問 召集員ノ寄留旅行等ノためニ在郷時之ニ代リ令狀ヲ受領シ應召員ニ召集簡閱點呼ヲ含ムルノ命令ヲ傳達スル責任者トシマス但シ召集通報人ハ成年者ニ限リマス又規定ニ依リ召集通報人ハ届出テナクテバナリマセン（召集規則第五條）

問 召集通報人トハ如何ナルカ  
答 大元帥陛下ノ勅令ニ依リ國軍ノ平時狀態ヨリ戰時狀態ニシテ召集旅費ハ自費ヲ以テ支辨シ出

### 第七 召集ニ關スル事項

問 召集ノ種類如何  
答 召集ノ種類如何

問 召集員ノ寄留旅行等ノためニ在郷時之ニ代リ令狀ヲ受領シ應召員ニ召集簡閱點呼ヲ含ムルノ命令ヲ傳達スル責任者トシマス但シ召集通報人ハ成年者ニ限リマス又規定ニ依リ召集通報人ハ届出テナクテバナリマセン（召集規則第五條）

問 召集通報人トハ如何ナルカ  
答 大元帥陛下ノ勅令ニ依リ國軍ノ平時狀態ヨリ戰時狀態ニシテ召集旅費ハ自費ヲ以テ支辨シ出

本誌には修養、軍事、事業等を記載する外支部と聯合分會及分會との連絡に必要な事項が掲載してあるから役員特に分會長常務理事は必ず通讀するを必要とす

一、充員召集

問 充員召集ノ心得

答 充員召集ハ何時シテモ...

二、演習召集

問 演習召集ノ心得

答 演習召集ハ...

第六 簡閱點呼ニ關スル事項

問 簡閱點呼執行年次...

答 簡閱點呼執行年次...

第七 下士官ニ關スル事項

問 下士官ノ徵召...

答 下士官ノ徵召...

第八 軍事ニ關スル事項

一、各兵科

問 國防ハ何ヲ云フコトカ

答 國防ハ...

二、歩兵科

問 左ノ兵器ノ主要ナル任務ヲ記

答 左ノ兵器ノ主要ナル任務ヲ記...

三、騎兵科

問 騎兵科ノ任務...

問 市町村長及警察署長...

問 市町村長及警察署長...

問 市町村長及警察署長...

問 市町村長及警察署長...

問 市町村長及警察署長...

問 市町村長及警察署長...

問 敵軍ノ活動力ヲ打破スル爲...

答 馬ハ騎兵活動ノ根源ナルヲ以...

問 歩兵ニ對シテ乘馬戰ノ要訣...

答 乘馬戰ノ要訣ニシテ乘馬ノ...

問 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

答 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

問 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

答 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

問 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

答 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

問 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

答 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

問 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

答 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

問 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

答 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

其二 歩兵ノ部

一、歩兵科

問 戰闘ノ勝敗ハ何ニヨルカ...

答 戰闘ノ勝敗ハ何ニヨルカ...

問 戰闘ノ勝敗ハ何ニヨルカ...

答 戰闘ノ勝敗ハ何ニヨルカ...

問 戰闘ノ勝敗ハ何ニヨルカ...

答 戰闘ノ勝敗ハ何ニヨルカ...

問 戰闘ノ勝敗ハ何ニヨルカ...

答 戰闘ノ勝敗ハ何ニヨルカ...

問 戰闘ノ勝敗ハ何ニヨルカ...

答 戰闘ノ勝敗ハ何ニヨルカ...

問 戰闘ノ勝敗ハ何ニヨルカ...

答 戰闘ノ勝敗ハ何ニヨルカ...

問 戰闘ノ勝敗ハ何ニヨルカ...

戰車兵

戰車兵

問 戰車ノ主ナル任務ハ何カ...

答 戰車ノ主ナル任務ハ何カ...

問 戰車ノ主ナル任務ハ何カ...

答 戰車ノ主ナル任務ハ何カ...

問 戰車ノ主ナル任務ハ何カ...

答 戰車ノ主ナル任務ハ何カ...

問 戰車ノ主ナル任務ハ何カ...

答 戰車ノ主ナル任務ハ何カ...

問 戰車ノ主ナル任務ハ何カ...

答 戰車ノ主ナル任務ハ何カ...

問 戰車ノ主ナル任務ハ何カ...

答 戰車ノ主ナル任務ハ何カ...

問 戰車ノ主ナル任務ハ何カ...

四、砲兵科

四、砲兵科

問 大砲ニ對シテ砲兵ノ心得...

答 大砲ニ對シテ砲兵ノ心得...

問 大砲ニ對シテ砲兵ノ心得...

答 大砲ニ對シテ砲兵ノ心得...

問 大砲ニ對シテ砲兵ノ心得...

答 大砲ニ對シテ砲兵ノ心得...

問 大砲ニ對シテ砲兵ノ心得...

答 大砲ニ對シテ砲兵ノ心得...

問 大砲ニ對シテ砲兵ノ心得...

答 大砲ニ對シテ砲兵ノ心得...

問 大砲ニ對シテ砲兵ノ心得...

答 大砲ニ對シテ砲兵ノ心得...

問 大砲ニ對シテ砲兵ノ心得...

五、工兵科

五、工兵科

問 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

答 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

問 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

答 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

問 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

答 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

問 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

答 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

問 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

答 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

問 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

答 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

問 戰闘ニ於テ制先ノ利ヲ獲得...

問 鐵道ノ破壊ニ於テ軌道ハ如何ニ破壊スカカ  
答 通常破壊ニ依リ器具ヲ以テスルトキハ迅速ニ修復シテ軌道ヲ復スルカ軌道ヲ除去ス  
問 工場ニ於テ作業軍紀トハ如何ナ事カ  
答 何ナ場合ニモ作業命令ヲ確定シ實行シ作業ニ關スル諸規定ヲ遵守スルコトヲ以テスルニハ如何ニスルカ  
問 航空線ニ在リテハ細キ金屬線ヲ以テ諸電線ヲ連絡シテ混線セシメ或ハ之ヲ地線若ハ支線ニ連絡スルカ或ハ電柱ノ裂目ニ沿ヒ水中又ハ地中ニ導キ漏電セシメマス被覆線ニ在リテハ心線ノモチ被覆シテ被覆ノ外觀ヲ維持シマス  
問 一般ニ火氣火具ノ取扱格納ト運搬ニハ如何ナ注意ガ要スルカ  
答 湯ラックスコト火氣ニ關レハ火災ニ與ヘテ注意シマス

六、航空兵科  
問 航空兵ノ性能ハ?  
答 飛行機ヲ以テ偵察偵察戰術ノ通信連絡戰術等ノ任務ニ服スル者テアリマス又ハ氣球ヲ以テ警戒或通信連絡及觀測ノ任務ニ服スル也  
問 飛行機兵士ハ特ニ軍紀嚴肅且責任觀念旺盛ナラサルヘカ如何ナル理由如何  
答 各自各異ノ動作ヲ爲ス事多ク又各々若ク名宛分散シテ動作スルコトアリ且動作ノ適否ハ直接飛行機ノ能力ヲ左右スル事多キ爲テアリマス  
問 飛行機ノ點檢ハ飛行後ノ點檢トハ着眼ニ如何ナル差異カアルカ  
答 飛行前ハ主トシテ取付機能及點檢ノ完否ヲ點檢シ飛行後ハ主トシテ異常ノ有無ヲ點檢シマス  
問 滑走地帯トシテハ何ナ處カ最モヨカ  
答 地面ノ傾斜百分ノ一以内ヲ土地ハ平坦開闊地盤カ堅硬土質ハ均等適宜ナル幅員ヲ有シ天候及氣象ノ影響ヲ受ルコトカ少ナイ所テアリマス

七、輜重兵科  
問 輜重兵ノ戰時勤務ニ於テ必要ナル精神ハ如何カ  
答 犧牲的精神  
輜重兵ハ他ノ戰闘兵種ト異ナリ花々シキ行動ハシナイカ彈藥糧秣等ノ軍需品ヲ運送スルヲ任務トシテテアツテ而モ天候、地形ト戦ヒ休息ナク連續ノ二行動ヲ晝夜兼行テ活動セ

衛生隊ニモツク  
小行李カ敵ノ小銃彈下チ通過スル時ハドウニスルカ  
答 敵馬毎二連歩ヲ以テ通過シテ損傷ヲ減少スル又敵火ニ暴露シテ停止セバハナラヌ時ハ兵ハ低イ姿勢ヲ取り馬ト敵方ニ向ケル大行李トハソナドナ部隊カ  
問 主トシテ宿營間ニ必要ナルモノ何ハ  
答 小行李トハ如何ナル部隊ヲ云フカ  
問 主トシテ戰闘間必要ナル物品何ハ  
答 輜重兵種ノ輜重トシテ云フ積載スル輜重ノ部隊ヲ云フ小行李トハソナドナ部隊ニツケラレ小行李トハ如何ナル部隊ヲ云フカ  
問 歩兵ハ大隊毎ニ(優良裝備ノ師團ハ大隊毎ニ)工兵ハ中隊毎ニ

補給力ハ軍隊距離距離増大シテ追撃ノ効果ヲ偉大ナラシム所ヲ決定スヘキカ  
答 一、敵服火ニ遮蔽シ可成戰線ニ近キカ  
二、交通便ナル道路ノ輻輳點附近ニシテ而モ道路ノ闊方ニ於テ中隊小行李又ハ散列車馬等ノ進入開進退出ニ便ニシテ彈藥ノ卸下げ受等ニ要スル相當ノ地積ヲ下スルカ  
問 馬整場トシテハ如何ニスル所トスルカ  
答 山下下最可トシ森林地利用スル場合モ多クアリマス何レノ場合ト雖モ出入容易ナル所カ必要アリマス森林ハ地面平坦乾燥シテ樹木ノ切株ノナイコト而シテ樹木ノ上方ハ枝葉繁茂シテハ可成開閉ノ徑約十程ナル時ハ最モ宜シイ  
竹藪其他雜木繁茂セル森林ハ多クハ不可テアリマス  
問 竹藪ノ位置如何  
答 竹藪ノ位置ハ地形ノ緩急ハ如何ナル所トシテ決定スルカ  
問 竹藪ノ位置ハ如何ニスルカ  
答 竹藪ノ位置ハ地形ノ緩急ハ如何ナル所トシテ決定スルカ  
問 竹藪ノ位置ハ如何ニスルカ  
答 竹藪ノ位置ハ地形ノ緩急ハ如何ナル所トシテ決定スルカ

八、衛生部  
問 看護兵ニハ何故勇氣服従慈愛誠實ヲ要スルカ  
答 看護ニ伴フ種々ノ不快ナル感傷ト悲傷ナル境遇トテ注意トセバ危險ナル戰場ニ入りテ從價トシテ動作シテ傳染病ヲ忌ミ難クコトナキ等ハ勇氣アルモノトシテレハ能クセナイ所テアリマス  
問 看護兵ノ本分ヲ完クルニハ如何ニスルカ  
答 勇氣ト服従ト力必要テアリマス看護ニ伴フ種々ノ不快ナル感傷ト悲傷ナル境遇トテ注意トセバ危險ナル戰場ニ入りテ從價トシテ動作シテ傳染病ヲ忌ミ難クコトナキ等ハ勇氣アルモノトシテレハ能クセナイ所テアリマス

兵役上所在不明者ニ對スル恩典ノ期限迫ル  
兵制六十週年紀念事業トシテ兵役上ノ所在不明者中昭和八年七月末日迄役場ナリ警察ナリ憲兵隊ナリ何レカハ申告セル者ニ對シテハ一大恩典ヲ以テ特別ノ詮議ニ附セルハ、ヘキ期限ハ漸次其ノ終期ニ近キツ、アリ此ノ際本紙ヲ閱讀セラル、各位ハ此ノ趣旨ヲ極力宣傳セラレ一人タリトモ多ク此ノ種申告者ノ出ル様充分ノ協力ヲ望ミマス

九、經理部  
問 軍隊ノ糧秣被服ノ經理ハ平時戰時ト如何ナル差異アルカ  
答 平時ハ委任經理戰時ハ實費經理トアリマス  
問 戰時臨時軍事費ノ會計年度ノ期間ハ如何  
答 通帯其ノ戰役又ハ事變ノ期間ヲ通テ一會計年度トシマス  
問 軍票トハ如何カ  
答 正貨ノ流出ヲ防止スル共ニ戰地ニ於ケル經費支拂上ノ便宜ヲ得ル爲メ行使スル支拂證書テアリマシテ政府カ直接發行スルモノデアリマス

宣誓  
(昭和三年四月二十日)  
一、我等ハ我等ノ本分ニ鑑ミ誓テ國體ノ擁護ニ任ス  
二、我等ハ郷黨相戒メ誓テ諂激ノ思想ヲ排除ス  
三、我等ハ同胞相率キ肇國ノ大義ヲ顯揚ス  
(帝國在郷軍人會(奈良支部印刷))  
帝國在郷軍人會會歌  
建國二千有餘年  
神聖比なき皇國の  
世界に負ける大使命  
果すは誰の任務ぞや  
朝日輝く旗風に  
迷妄の雲拂ひ去り  
正義の利劍、人類を  
救ひ匡むはいつの日ぞ  
郷に入りては忠良の  
民とし勵み事あらば  
出でし皇國に捧ぐべき  
われらが此身の命  
つとむる業は異なれど  
思ひは一ついつとても  
皇國を護る赤誠は  
吾等が胸に燃ゆるなり  
あゝいくそたび天皇の  
降したまへる勅語の  
聖旨かしこみ東の國も  
心ゆるめず鍛へばや  
忠勇義烈の血を享けし  
日本男子の輝ける  
雄々しく共に進まばや

陸軍御用達  
各國時計 多賀時計店  
貴金屬 多賀時計店  
奈良市下清水町 電話一〇九一  
大嶽山へ御登山の節は 是非とも弊館へ  
軍人會 青年團 青年訓練所  
專門旅館 紀の國屋甚八  
大和大峰山下洞川 別館 清風亭 電話洞川九番 館主 紀基治 幸

登録 陸海軍御用達  
清涼劑福美丹  
外優良賣藥 十數方製劑卸  
キ、メで 惚れられ 印ですかれ 同じ召すなら なくやの藥

商標 全國司令部ノ御證明賜ハル 製造高壹百萬挺突破 創立明治二十五年

井澤式教練銃  
三八式步兵銃代用  
滿洲 上海 國事多難ノ秋 熱血進ル幾多ノ美談ヲ慕ル (井澤銃報詳載)

井澤銃砲製造所  
所所用元 鑄造 鑄造 鑄造  
所所用元 鑄造 鑄造 鑄造  
所所用元 鑄造 鑄造 鑄造  
所所用元 鑄造 鑄造 鑄造

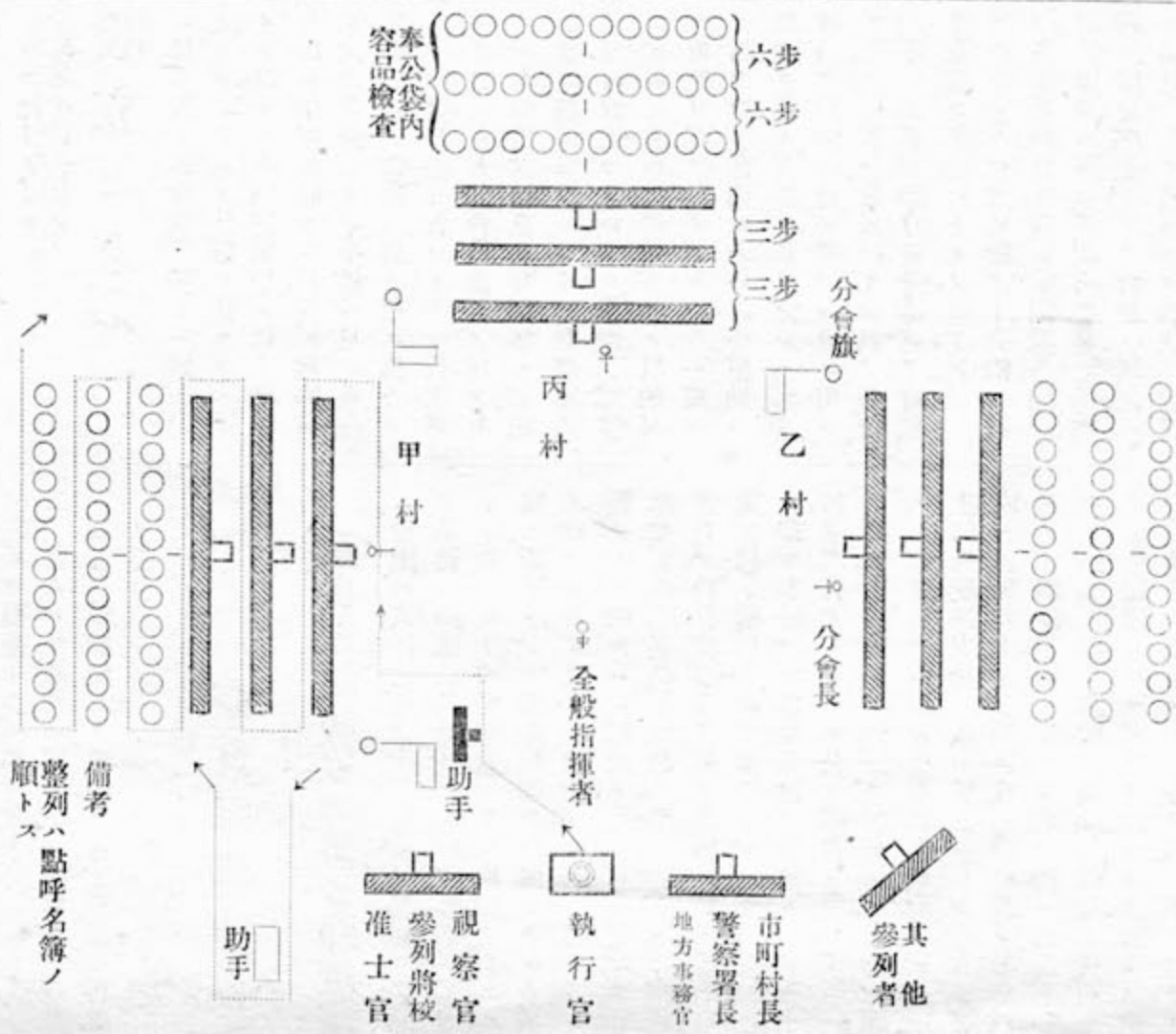
井澤銃報詳載

部令司區隊聯良奈

簡閱點呼執行要領

圖要施實及列整

ノ場呼點簡閱點  
他其及備設



一、點呼場ノ設備其他打合セノ爲前日午後附屬下士先行スルヲ以テ受點呼町村ノ兵事主任(市ニアリテハ市兵事主任)ヲ令シ參會者ニ敬禮ヲナサシムルモノトス

二、勸諭、勸語ノ奉讀

三、勸諭、勸語ノ奉讀ニ當リテハ全般指揮者ハ各勸諭、勸語ノ奉讀前及後ニ於テ最敬禮ヲナサシムルモノトス

四、學科(要スルトキハ術科)

五、點呼終了ヲ宣ス

六、軍人會歌合唱

七、一ニ準シ敬禮ヲ行フ

八、一ニ準シ敬禮ヲ行フ

九、一ニ準シ敬禮ヲ行フ

一、分會長ハ列外ニアリテ取締ニ任シ執行官自己分會ニ至ラントスルトキ「氣ヲ付ケ」ヲ令ス而シテ後警察署長、市町村長及附屬下士官ト共ニ執行官ニ同行スルモノトス

二、脱帽ヲ要スル者ハ執行官面前ニ來ル二人前ニ脱帽シ前而ヲ去ルヤ右(左)向ヲナシ行進中着帽スルモノトス

三、參會者ハ執行官其ノ前ニ至リタルトキハ一名宛(參會人員多數ナル時ハ執行官ノ指示ニ依ル二名又ハ三名宛)順次ニ二歩前進シテ敬禮シ(軍服着用者ハ室外ノ敬禮其他ハ室内ノ敬禮トス)自己ノ役種官等級氏名(未教育補充兵ハ役種兵種氏名)ヲ唱ヘ(二三名同時ニ前進スル場合ハ一名宛敬禮シ氏名等ノ申告ヲ爲ス)執行官面前ヲ去リタル後執行官ノ行進方向ト反對方向ニ右(左)向ヲナシ駆歩ヲ以テ助手ノ許ニ至リ軍隊手牒又ハ補充兵證書ヲ提出シ舊位置ノ後方要圖ノ如ク位置シ奉公袋內容品ノ檢査ヲ受ク

四、申告ノ爲唱呼ハ左ノ例ニ依リ印ヲ付シアル所ニ句切リ活音明瞭ニ發唱スルモノトス

豫備 陸軍航空兵一等兵 〇何某  
後備 陸軍工兵一等兵 〇何某  
備 陸軍騎兵二等兵 〇何某  
第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某  
第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某  
第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某  
第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某  
第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某  
第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某



附 録

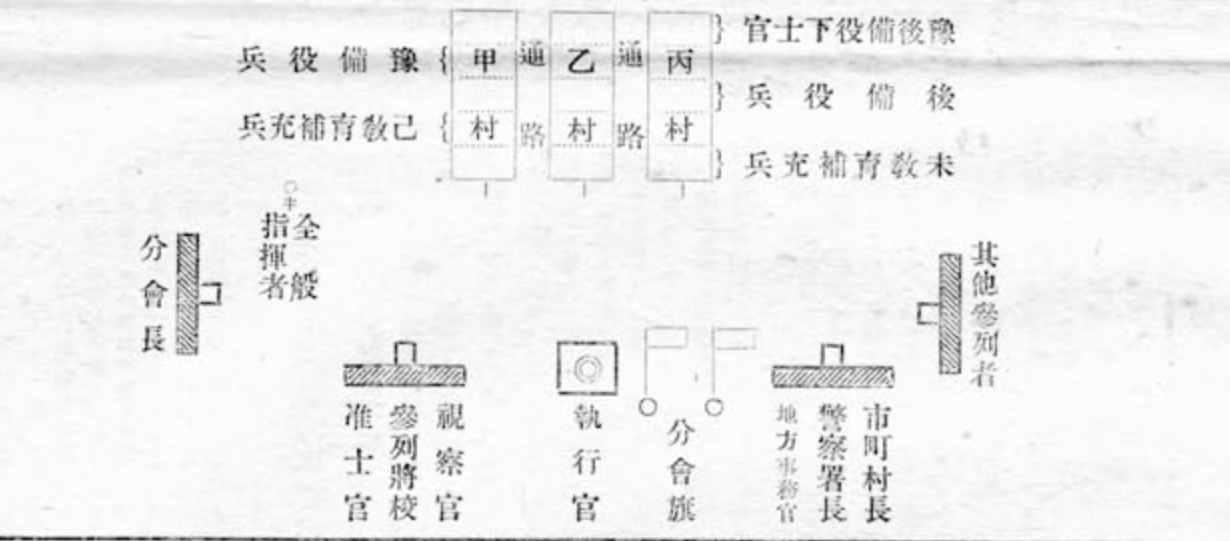
(共料發)價 定 一  
部 年 一  
錢 六 拾 參 金  
錢 六 拾 參 金

昭和八年七月一日印刷  
昭和八年七月五日發行

發行所 奈良良隊司令部  
支店 吉村 支店 吉村  
支店 吉村 支店 吉村  
支店 吉村 支店 吉村  
支店 吉村 支店 吉村  
支店 吉村 支店 吉村

兵役上所在不明者ニ對スル特別詮議ニ附セラルベキ期日ハ本七月末日迄トス一人タリトモ多クノ申告者ノ出ル様本誌讀者ヲ通シテ可及的汎ク宣傳ヲ乞フ(本誌參照)

注 一、本範例ハ一ノ準據ヲ示シタルモノトス  
二、二個町村以上合同シ執行スル場合ハ其半數ハ呼名點呼問學科ヲ行ヒ彼此交代スルモノトス



ノ概要	及任務	補助官	動作	以下ノ	分會長	呼名點	檢ノ際	順序	於ケル	演場ニ	學科講	順序	於ケル	呼名點					
一、執行官呼名點檢場ニ臨ム時全般指揮者ハ參加者ニ「氣ヲ付ケ」ヲ令シ敬禮ヲナサシムルモノトス	二、勸諭、勸語ノ奉讀	三、勸諭、勸語ノ奉讀ニ當リテハ全般指揮者ハ各勸諭、勸語ノ奉讀前及後ニ於テ最敬禮ヲナサシムルモノトス	四、學科(要スルトキハ術科)	五、點呼終了ヲ宣ス	六、軍人會歌合唱	七、一ニ準シ敬禮ヲ行フ	八、一ニ準シ敬禮ヲ行フ	九、一ニ準シ敬禮ヲ行フ	一、分會長ハ列外ニアリテ取締ニ任シ執行官自己分會ニ至ラントスルトキ「氣ヲ付ケ」ヲ令ス而シテ後警察署長、市町村長及附屬下士官ト共ニ執行官ニ同行スルモノトス	二、脱帽ヲ要スル者ハ執行官面前ニ來ル二人前ニ脱帽シ前而ヲ去ルヤ右(左)向ヲナシ行進中着帽スルモノトス	三、參會者ハ執行官其ノ前ニ至リタルトキハ一名宛(參會人員多數ナル時ハ執行官ノ指示ニ依ル二名又ハ三名宛)順次ニ二歩前進シテ敬禮シ(軍服着用者ハ室外ノ敬禮其他ハ室内ノ敬禮トス)自己ノ役種官等級氏名(未教育補充兵ハ役種兵種氏名)ヲ唱ヘ(二三名同時ニ前進スル場合ハ一名宛敬禮シ氏名等ノ申告ヲ爲ス)執行官面前ヲ去リタル後執行官ノ行進方向ト反對方向ニ右(左)向ヲナシ駆歩ヲ以テ助手ノ許ニ至リ軍隊手牒又ハ補充兵證書ヲ提出シ舊位置ノ後方要圖ノ如ク位置シ奉公袋內容品ノ檢査ヲ受ク	四、申告ノ爲唱呼ハ左ノ例ニ依リ印ヲ付シアル所ニ句切リ活音明瞭ニ發唱スルモノトス	豫備 陸軍航空兵一等兵 〇何某 後備 陸軍工兵一等兵 〇何某 備 陸軍騎兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某	第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某	第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某	第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某	第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某	第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某	第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某 第一補充兵 陸軍歩兵二等兵 〇何某

(裏ニ重要記事アリ)

# 奈良縣國防協會

## 設立セラレ

時局ノ重大性ニ鑑ミ近來各府縣ニ於テハ國防協會ノ瀕ニ結成セラレツツアルノ状態ニ在ルノハ誠ニ慶賀ニ堪エナイ次第アル、御承知ノ如ク本縣ニ於テモ去ル七月四日午後二時ヨリ畝傍町建國會館ニ於テ荒木陸軍大臣ヲ迎ヘテ近來稀ニ見ル盛會ノ下ニ本國防協會カ建國ノ靈地ニ於テ茲ニ孤々ノ聲ヲ擧ケタラアル。當日各分會ヨリ夫々代表者カ來テ居ラレタ事アルカ大部會員諸君ノ爲メ其ノ梗概ヲ御示シスル本會設立趣意及會則等ハ別記ノ如クテアルカラ能ク熟讀セラレタイ、在郷軍人會奈良支部ハ本年三月改正セラレタル帝國在郷軍人會規約第十條(本會ハ本會ノ事業ト其ノ目的又ハ種類ヲ同ウスル事業ヲ行フモノアルトキハ要スレハ之ト協同シテ該事業ヲ實施シ若ハ之ヲ補助スルモノトス)ノ趣旨ニ基キ支部ヲ以テ之レニ參加シ將來重要ナル役割ヲ演シ本會ノ發展助成ニ努メナケレハナラスノテアル各分會長以下會員ノ各位ニ於カレテモ此ノ考ヘノ下ニ極力後援協同ノ實績ヲ擧ケラレン事ヲ希望シテ己マナイノテアル。

當日ハ正二時開會集マル者其ノ數二千有餘ト註セラレタ、久慈學務部長開會ヲ宣シ、國歌合唱、久米縣知事國際聯盟退ニ關スル詔書奉讀、都司縣會議長ノ挨拶森田市長座長トシテ會則ノ議定ニ移リ万場拍手禮ニ別記ノ如ク異議ナク可決ス、次イテ縣知事ノ會則ノ示ス所ニ基キ新ニ縣國防協會會長トシテ式辭ヲ朗讀シ、岡橋町村長會長ハ左記ノ如キ決議ヲ提起シ茲ニ縣民ノ重大時局ニ對スル牢固タル決意ヲ宣明ス。

次イテ陸軍大臣、第十八師團長、松崎吳海軍人事部長ノ祝辭蒲師團長ノ發聲ニヨリ 天皇陛下ノ万歳ヲ三唱シ式ヲ閉チタリ、式後代表者ハ榎原神宮ニ參拜シ、奈良縣國防協會成立ノ旨ヲ奉告セラレタリ。

後、荒木陸軍大臣ハ約二時間ニ互リ時局ニ關スル講演ヲ實施セラレ万場ノ來會者ニ對シ深刻ナル印象ト多大ノ利益ヲ與ヘラレタリ本口演ノ要旨ハ後日本報ニ掲載スル等

正義ヲ貫徹セシム事ヲ期ス。  
二、吾人ハ此際特ニ國防思想ノ普及ノ徹底ヲ期シ朝野一致團結シテ帝國ノ非常時局ニ善處セム事ヲ期ス。

昭和八年七月四日

### 奈良縣國防協會

### 奈良縣國防協會設立趣意書

帝國ハ東洋永遠ノ平和確立ノ爲ニ敢然滿洲國ヲ承認シ帝國ノ決意ト使命トヲ中外ニ宣明シタルモ不幸ニシテ國際聯盟ト其ノ所信ヲ異ニシ遂ニ我國ハ斷乎トシテ國際聯盟ヲ離脱シタルカ其ノ通告ヲ爲スニ方リ畏クモ大詔ヲ渙發アラセラレ帝國ノ嚮テ所ヲ明カニシ國民ノ進ムヘキ道ヲ垂示シ給フ聖慮宏遠定ニ恐懼感激ノ至リニ堪ヘス國民タル者宜シク粉骨碎心身ヲ以テ帝國ノ使命遂行ニ勇往邁進シ以テ聖旨ニ副ヒ奉ラサルヘカラス

抑モ本縣ハ 皇祖發祥ノ靈地ニシテ三千年ノ山河草木行クトシテ奉公ノ遺薰ヲ傳ヘサルハナシ則チ其ノ忠勇義烈ハ固ヨリ我縣民ノ天性ニ出ツルモノト言フヘク這回日支事變勃發以來縣民ハ舉テ自主的外交ノ支持ニ或ハ愛國飛行機大和號ノ獻納ニ或ハ出動將士ノ慰問ニ或ハ遺家族ノ慰藉救護等ニ其ノ赤誠溢ルルモノアリシハ洵ニ喜ニ堪ヘサル所ナリ然リト雖モ現時ハ猶非常時局ニ直面シ而モ其ノ前途遙遠ニシテ寸時ノ儉安ヲモ容サス愈々大詔ヲ服膺シ確固タル決心ヲ以テ事ニ當ラサルヘカラサルノ秋ナルヲ以テ茲ニ我等同志相諮リ奈良縣國防協會ヲ設立シテ舉縣一致統制アル活動ノ下ニ益々建國ノ本義ヲ闡明スルト共ニ皇國精神ノ發揚國防思想ノ普及徹底ニ努メ以テ國力ノ充實強化ヲ圖リ大イニ國運ノ進展ニ貢獻スル所アラムトス庶幾クハ縣民諸彦宜シク意ノアル所ヲ諒トセラレ絶大ナル協力ヲ資ランコトヲ

昭和八年七月四日

### 奈良縣國防協會設立發起者 (次第不同)

- 奈良縣知事 久米 成夫
- 奈良縣市長 森田 三郎
- 奈良縣會館長 都司 大右衛門
- 帝國在郷軍人會奈良支部 會長 岡橋 村長
- 愛國婦人會奈良支部 會長 日本赤十字社 加志 香織
- 帝國軍人後援會奈良支部 會長 奈良縣社會事業協會 會長 奈良縣聯合青年團 會長 奈良縣聯合女子青年團 會長 奈良縣聯合青年團 會長 消防協會奈良支部 會長

- 奈良縣實業聯合會 奈良 新聞社
- 奈良縣農協聯合會 大和 每日新聞社
- 奈良縣商會聯合會 大阪 時事新報奈良支局
- 奈良縣商會聯合會 大阪 每日新聞奈良支局
- 奈良縣商會聯合會 大阪 每日新聞奈良支局
- 奈良縣商會聯合會 大阪 每日新聞奈良支局
- 奈良縣商會聯合會 大阪 每日新聞奈良支局
- 奈良縣商會聯合會 大阪 每日新聞奈良支局
- 奈良縣商會聯合會 大阪 每日新聞奈良支局
- 奈良縣商會聯合會 大阪 每日新聞奈良支局

### 奈良縣國防協會會則

- #### 第一章 名稱及事務所
- 第一條 本會ハ奈良縣國防協會ト稱ス
- 第二條 本會ハ事務所ヲ奈良縣廳内ニ置ク
- #### 第二章 目的及事業
- 第三條 本會ハ建國ノ本義ヲ闡明スルト共ニ皇國精神ノ發揚國防思想ノ普及徹底ヲ圖リ國防ノ充實強化ヲ期スルヲ以テ目的トス
- 第四條 本會ハ前條ノ目的ヲ達成スルカ爲メ左ノ事業ニツキ本會自ラ之ヲ行ヒ又ハ本會ト其ノ趣旨ヲ同クスル團體ノ事業ヲ援助スルモノトス
- 一、國民思想ノ善導ニ關スル事業
- 二、國防及國際問題ニ關スル調査研究並ニ之カ普及ニ關スル事業
- 三、國防警備等ニ關スル各種ノ演習訓練ニ關スル事業
- 四、國防ニ關スル講演會、展覽會、映演會等ニ關スル事業
- 五、軍人軍隊ノ後援並ニ軍人遺家族ノ慰藉救護ニ關スル事業
- 六、國防ニ關スル勸募金品ノ取扱ニ關スル事業
- 七、其ノ他本會ノ目的達成ニ必要ナル事業
- #### 第三章 組織
- 第五條 本會ハ本會ト趣旨ヲ同クスル團體及本會ノ趣旨ヲ贊シ入會セル者ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第六條 本會ノ會員ヲ別チ左ノ五種トス
- 一、正會員 第五條ノ團體
- 二、贊助會員 本會ノ趣旨ヲ贊シ會費一時金貳圓以上ヲ納ムル者
- 三、特別會員 本會ノ趣旨ヲ贊シ會費一時金拾圓以上ヲ納ムル者
- 四、有功會員 本會ノ趣旨ヲ贊シ會費一時金五拾圓以上ヲ納ムル者
- 五、名譽會員 本會ニ對シ功績顯著ナル者ヲ會長ノ推薦セル者
- #### 第四章 役員職員及顧問
- 第七條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、會長 一名
- 二、副會長 二名
- 三、委員 若干名
- 四、評議員 若干名
- 五、幹事長 一名
- 六、幹事 若干名
- 第八條 會長ニハ奈良縣知事ヲ推戴ス
- 第九條 役員ノ職務權限左ノ如シ
- 第十條 役員ハ本會ヲ代表シ且會務ヲ總理シ會長トナル副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス但シ其ノ代理スヘキ順序ハ會長之ヲ指定ス
- 第十一條 本會ノ事業計畫並ニ之カ執行ニ參照ス 委員中若干名ヲ常任委員トシ會長之ヲ指名ス
- 第十二條 評議員ハ本會ノ經費財產其ノ他重要ナル事項ニツキ議決ス
- 第十三條 幹事長及幹事ハ會長ノ命ヲ承ケ會務ヲ處理ス 幹事若干名ヲ常任幹事トシ會長之ヲ指名ス
- 第十四條 役員ニ缺員ト生ジタルトキハ必要ニ應ジ之ヲ補缺ス
- 第十五條 本會ニ顧問若干名ヲ置キ會長之ヲ推戴ス
- 第十六條 顧問ハ本會ノ事業ニ關シ會長ト諮問ニ應ジ又ハ自ラ意見ヲ述フルコトヲ得
- 第十七條 役員及顧問ハ名譽職トシ別ニ任期ヲ定ムス但シ他ニ本職ヲ有スルカ爲メ本會ノ役員又ハ顧問タル者ハ其ノ職ヲ去リタルトキヲ以テ本會役員又ハ顧問ノ資格ヲ失フモノトス
- 第十八條 役員及顧問ニハ會務ノ爲メ費用ヲ拂償スルコトヲ得
- 第十九條 費用拂償額並ニ其ノ支給方法ハ別ニ之ヲ定ム
- #### 第五章 分會
- 第二十條 本會ハ市町村ニ分會ヲ置キ事務所ヲ市役所又ハ町村役場内ニ設ク
- 第二十一條 分會ハ其ノ市町村名ヲ冠スルモノトス
- 第二十二條 分會ニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、分會長 一名
- 二、副分會長 一名
- 三、書記 若干名
- 第二十三條 分會長ハ市町村長ヲ以テ之ニ充ツ
- 第二十四條 副分會長ハ分會長ニ申報スルモノトス
- 第二十五條 書記ハ分會長之ヲ推戴ス
- 第二十六條 第九條第十條第十二條ニ規定セル本會會長、副會長、分會長、分會會長ハ分會ノ役員ニ之ヲ準用ス
- 第二十七條 分會長ハ會則ヲ設ク必要ナル事項ヲ定ムルコトヲ得
- #### 第六章 會費
- 第二十八條 評議員會ハ會長之ヲ推戴ス
- 第二十九條 評議員會ハ毎年一回之ヲ開ク 但シ會長ニ於テ必要ト認メタル場合ハ臨時開會スルコトアルヘシ
- 第三十條 會長ハ評議員會ノ附議事項ニ對シ文書ヲ以テ各評議員ノ意見ヲ徵シ評議員會ノ決議ニ代フルコトヲ得
- 第三十一條 評議員會ニ附議スヘキ事項左ノ如シ
- 一、豫算決算ニ關スル事項
- 二、財產處分ニ關スル事項
- 三、會則ノ改正及規程ノ設定又ハ改廢ニ關スル事項
- 四、其ノ他會長ニ於テ必要ト認ムル事項
- 第三十二條 評議員會ハ評議員三分ノ一以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス
- 第三十三條 評議員會ハ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可旨同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
- #### 第七章 經費
- 第三十四條 本會ノ經費ハ會費、寄附金、團體禮出金、其ノ他ノ收入金ヲ以テ之ニ充ツ
- 第三十五條 分會ニ於テ取扱タル贊助會員、特別會員及有功會員ノ納ムル會費並ニ寄附金ニ對シテハ別ニ定ムル所ニ依リ交付金ヲ支出スルコトヲ得
- 第三十六條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル
- 第三十七條 會計年度ノ終リニ於テ剩餘金アルトキハ之ヲ基本財産トシテ蓄積ス

### 附則

本會則ハ昭和八年七月四日ヨリ之ヲ施行ス

會長ハ會務處理ノ爲メ必要ナル規則ヲ設クルコトヲ得

第五條ノ團體ハ評議員會ノ決議ニ依リ之ヲ定ム